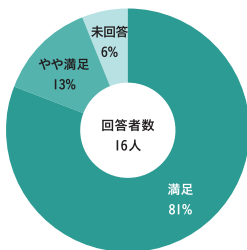


4 今後の予定

2022年 1 回目	10月29日(土) 14:30-17:30 会場：千里体育館	公園を知る、仲間を知る 公園施設のオープンを目標に一緒に取り組みを考える仲間と交流します。お互いのことを知り合い、公園で取り組んでみたい活動を共有します。
2 回目	11月26日(土) 14:30-17:30 会場：千里公民館	公園を楽しむ企画を考えよう① 企画講座を実施します。公園の資源や個人個人が持つ強みを持ち寄り、活動を企画します。
3 回目	12月11日(日) 14:30-17:30 会場：千里公民館	公園を楽しむ企画を考えよう② 公園での活動を参加者同士で紹介し合い、さらに企画のブラッシュアップを図ります。
2023年 4 回目	1月28日(土) 14:30-17:30 会場：千里公民館	活動や公園をPRしよう ちらしデザイン講座を実施します。その結果を受けて、取り組みを紹介するチラシを考えます。
5 回目	2月25日(土) 14:30-17:30 会場：千里公民館	活動を準備しよう 施設のオープンに向けて、企画を準備します。活動を実施する場所を確認し、本番をイメージしながら準備を進めます。

5 アンケートより

Q1 ワークショップの満足度は？



Q2 挑戦してみたいと思う企画は？

- ・フォト講座
- ・公園をきれいにする
- ・なぞとき
- ・公園の夜を楽しむ
- ・ヨガ
- ・基地づくり
- ・竹フェス

Q3 ワークショップの感想は？

- ・少しずつ知り合いもできて居場所もできてきた
- ・企画づくりのレクチャー、もっと聞いていたいなと思った！
- ・実現可能な企画を選びがちだったが、事例を見て、いろいろな活動が実践されていることがわかった
- ・アイデアを他の人と共有することで発展していくのがおもしろかった
- ・次回もおやつ期待してます！



千里中央公園活性化事業について

豊中市では、千里中央公園において公募より選定した事業者「千里中央公園パートナーズ（株式会社ローン、西日本電信電話株式会社（NTT西日本）、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の3社）」を中心に、公民連携による魅力ある公園づくりを進めています。2023年春の収益施設のオープンに向けた地域のみなさんとつくる千里中央公園の新しい取り組みにぜひご参加をお願いします。

●事業内容

- ・活性化プログラム | 企画・運営
- ・収益施設 | コミュニティカフェの設置・運営
- ・駐車場運営 | 公園自動車駐車場の運営・管理

●事業スケジュール(予定)

- ・活性化プログラム・駐車場運営 | 2022年4月 事業開始
- ・収益施設 | 2023年3月 オープン



詳細はこちらのリンク先よりご確認ください

主催：エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
共催：豊中市 環境部 公園みどり推進課
企画・運営：studio-L

WORKSHOP 2 NEWSLETTER

2022年12月発行



企画・実践編

千里中央公園では、2023年3月の収益施設オープンに向けて、地域のみなさんといっしょに新しい公園づくりを進めています。「講座編」に続いて今回の「企画・実践編」では、みなさんと公園を楽しむための企画を考えていきます。5回のワークショップを通じて公園のことを知り、一緒に活動する仲間と出会いながら、企画を実際にやってみましょう！

2回目 公園を楽しむ企画を考えよう①

日時 11月26日(土) 14:30-17:30

会場 千里公民館

参加者 20名

プログラム

- ・開会/はじめに
- ・前回のふりかえり
- ・みんなで自己紹介
- ・企画づくりのコツ
- ・公園でやってみたい企画を考えよう！
- ・企業紹介
- ・発表
- ・閉会/おわりに

第1回のフィールドワークで見つけた千里中央公園の資源をヒントに、第2回ワークショップではやってみたい企画を考えました。

まず、今回のテーマである企画のつくり方についてのレクチャーを受け、企画づくりに大切な視点やアイデアの生み出し方を学びました。

また、企画を考える前に、アイデアを生み出しやすくするためのインプットとしてカード化された国内外の先行事例が紹介されました。

ワークでは「ブレインライティング」と呼ばれる手法を使い、各自がやってみたいテーマについて、アイデアを広げました。自分にはない発想が次々と足され、思ってもいなかった方向にアイデアが膨らむなど、企画づくりに大切な視点に気づくことができました。最後はブレインライティングで広がったアイデアを企画シートに整理しました。



1 みんなで自己紹介

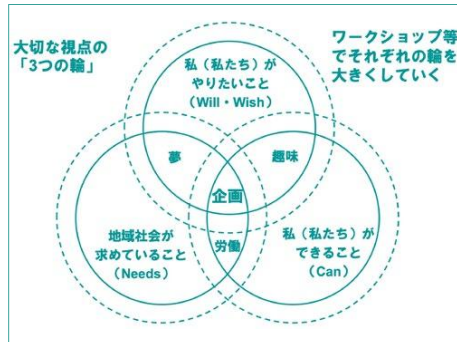
企画・実践編のワークショップでは、アイデアを発想し、発表する機会が増えてきます。その際に気持ちの良いリアクションを送り合うことが大切だということを自己紹介を通じて体験しました。相手の話を聞く時にうなずいたり、拍手をしたりしますが、それをいつもより「過剰」にすることを意識しました。「へー!」、「すごいですね!」という言葉が飛び交い、熱い拍手を送り合いました。また、感謝の気持ちを伝える「たけのこシール」を今回のワークショップから導入しました。良いリアクションをしてくれた人には「しゃべりやすかったです。ありがとう!」といった声があがり、多くのシールが交換されました。



2 企画づくりのコツ

第2回ワークショップのテーマは「企画づくり」です。「アイデア」を生み出し「企画」に育てていくコツを学びました。

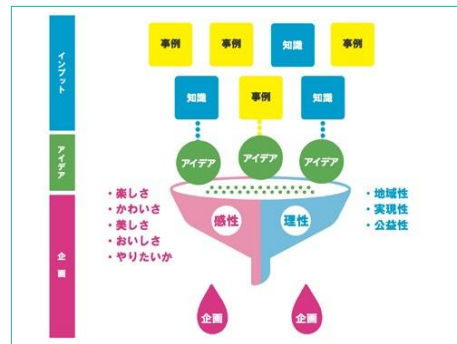
●「アイデア」を生み出すワークショップ



「企画」をつくる上で大切にしたい3つの輪があります。1つ目は「私がやりたいこと」、2つ目は「私ができること」、そして3つ目は「地域や千里中央公園が求めていること」です。この3つの輪が重なるところに良い「企画」が生まれます。これら3つの輪を一人で考え、さらに実践することはとても大変ですが、今回のようなワークショップを活用すれば一つ一つの輪を大きくしていくことができます。仲間が増えればできることが増え、お互いの学びの中で新たな発見や「アイデア」が生まれるからです。ワークショップとは、参加者自らが主体的に参加し、

会話や体験を通して相互に関係し、新たな学びや発見が得られる場所です。ではなぜ、参加者同士の関係性を深めていくのでしょうか?それは、関わりの中で一人一人の役割が見えてきたり、学びや発見の相互作用から新たな関係が生まれたり、みなさんの持つ「経験」「価値観」「知識」といった多様ですばらしい資源から、新たな「アイデア」が生まれるからです。それがワークショップの意義だといえるのではないのでしょうか。

●「企画」をつくるための「アイデア」



「企画」をつくるにはたくさんの「アイデア」が必要です。そして「アイデア」は無の状態からは生まれません。アメリカのデザイナーであるジェームス・W. ヤングは「アイデアとは、既存の要素の新しい組み合わせである」と言っています。「アイデア」を生

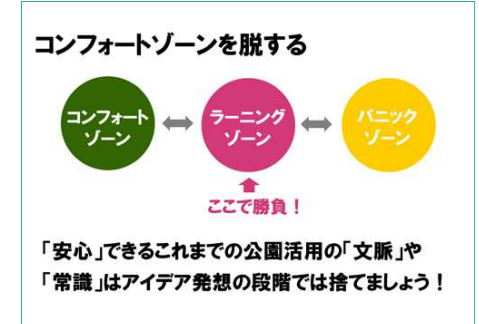
み出すには情報のインプットが必要です。まずは自分の中にたくさんの情報を蓄えること。それから「アイデア」を出してみる。そうして生まれたたくさんの「アイデア」を感性や理性に訴えかけ、ようやく「企画」へと絞り込むことができます。「アイデア」を生み出す方法として「ブレインストーミング」を紹介します。みんなでアイデアを出し合っ、誰かが出したアイデアにさらにアイデアを付け足していくという手法です。ルールは3つあります。①質より量（くだらなくても笑われても良いからたくさんアイデアを出す）、②yes, and（自己紹介で実践したように、過剰なリアクションをする、「できない理由探し」のアイデアキラーにならない）、③とにかく楽しむことです。



また、「オズボーンのチェックリスト」もアイデア発想のヒントになります。9つあるリストのうち①逆転・ネガポジ変換、②代用・転用、③結合（クロス・ブ

ログラミング)、④拡大・縮小、⑤置換といった5つの視点についての紹介がありました。

●「アイデア」に常識はいらない!



みなさんの頭の中には「普通の公園では、こういうことをやっているよね」というイメージがあると思います。一方で、アイデアを生み出すときには、固定観念や常識から一歩踏み出して発想することも必要です。枕詞に「実は〜」「もしかして〜」「逆に〜」を入れることを意識しながら発想すると、今までにない感覚でイノベティブ(革新的)なアイデアが生まれるかもしれません。

3 公園でやってみたい企画を考えよう!

今回はブレインストーミングの一種である「ブレンライティング」の発想法を使い、公園でやってみたいアイデアをさらに広げました。興味や経験の異なる人たちがアイデアをさらに加えていくことで、ひとりでは思いつかなかった発想へと展開していきました。その後、ブレンライティングで集まった「アイデア」を「企画」に落とし込みました。企画のテーマや内容、参加してほしい人などを書き出し、情報を整理しました。最後は、できあがった企画案をグループ内で発表しました。

